

わたしたちの 日本一 美しい村



広報

しらかわ

SHIRAKAWA

2011年 9月12日発行

第482号



「20歳の決意 亡き級友に誓う」

(白川村成人式 P2参照)



the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合
白川村は「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています



9月号

平成23年白川村成人式…2ページ
白川村からの被災地支援活動…4ページ
祝 敬老の日 長寿番付表…5ページ
地域振興定住対策補助金…12ページ

祝 成人！ 平成23年

白川村成人式



8月14日(日)平成23年白川村成人式が、合掌造り民家園内の芸能堂を会場に開催されました。

成人式の開催は、雪の多い1月を避け、31年前からお盆の帰省に合わせて行っており、今年は村出身の成人者11名(男性3名、女性8名)が出席され、成原村長、板谷副村長、村議会議員、高殿・川上両県議会議員、新成人恩師ら56名が新成人の門出を祝いました。

式の最初に3月11日に発生した大震災の犠牲者と、7年前にご家族とともに交通事故で亡くなられた故山本隆司さんに対し、黙祷が捧げられました。

式典1部では、新成人たちがそれぞれの近況を語り、村長が「命を大切にできる人であっていただきたい」また、「将来ますます心身を練磨し、優秀な若人としてどの世界に



いても限りなく伸びていかれるよう願います」と式辞を述べました。次に、新成人を代表して宮脇怜也さん(飯島)が「感謝の気持ちと白川村で育った誇りを胸にきざみ、亡



き山本隆司さんを失った悲しみを忘れず、これからの人生を懸命に歩んでいくことを決意します」と誓いの言葉を力強く読みあげました。

式典2部では、昨年に引き続き新成人を祝う記念コンサートとして「中部フィルハーモニー交響楽団」による弦楽四重奏の演奏(「ありがとう」他4曲)が行われました。その後、恩師加藤陽介教諭が指揮をとり、新成人は恩師青木孝憲教諭と共に白川中学校校

歌を、演奏に合わせ、懐かしそうに合唱しました。

続いて、成人式実行委員長新谷彰吾さんの進行による「新成人いろいろ談義」が開かれ、村長、村議会議員、成人式実行委員会らと「みんなで白川村を語ろう」をテーマに話し合いました。新成人からは「白川村出身というと、良いところだよなといわれる」「久しぶりに帰って来てもみんなが声をかけてくれる」という意見が



出ました。また、白川村の生活面では「交通面などが不便」「やりたい仕事がない」「後継ぎとして帰らなければならぬい所」などの意見が出ました。最後に、倉教育長より同級生の故山本君が書いた「愛」の文字を成人者の胸章のリボンに添えたことが伝えられ、「愛」の文字を見つめながら成人者一人ひとりが故人を偲び、成人者としての新たな決意を胸にしていました。



平成23年新成人者

(50音順・敬称略)

- 宇田 佳織(鳩谷)
- 倉 安梨沙(椿原)
- 近藤 志織(鳩谷)
- 坂本 志央莉(平瀬)
- 佐藤 睦美(荻町)
- 下目 静香(飯島)
- 中谷 紗矢香(芦倉)
- 札脇 美咲(鳩谷)
- 松古 哲(荻町)
- 宮脇 怜也(飯島)
- 渡邊 優次(荻町)

20歳の一行詩

新成人になられた皆さんから、「20歳の一行詩」を募集したところ、8名の方から応募がありましたので紹介します。

みんな知ってる白川郷。

「出身は白川村です。」

ドヤ顔で言えちゃいます。

坂本志央莉

かえってくる場所があるからがんばれる、その場所がしらかわ。

どうし

一人暮らしにチャレンジしたけど淋しくて家から通ってまーす！やっぱり家が一番好きです♡

帰ってきて「うるさいうるさい」言われたけど今はもう何も言わない。

中谷紗矢香

白川村に帰ってきて 感じたことが一つあります。酒を飲めなきゃ 白川人とは言えない！

今 僕は 修行中です。

宮脇 怜也

個性的な両親。でも、そんな2人が大好きです。経済的に決して余裕があるわけではないのに、私のわがままに付き合ってくれてあり

がとつ。

必ず看護師になります。

宇田 佳織

「お父さん お母さん 今までありがとね こんな私は 20歳になりました。」

あなたの分まで しっかり生きます そんな私を見守ってください。

浮かんでくる故郷の道

「さあ帰ろう」 見慣れた景色

「おかえり」

いつものように むかえてくれる 私の家族

M.S

20歳の今は 夢の途中にすぎないけれど 背中を押してくれる 家族に感謝。ありがとつ。

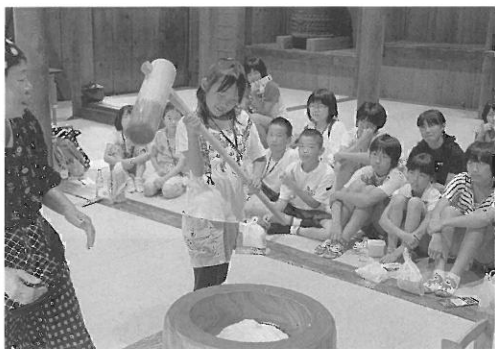
匿名希望M

たまに帰ってくる白川がいて思った。お酒を飲めるのも白川で育ったおかげかな

しーちゃん

白川村からの被災地支援活動

福島の子供たちが 白川村訪問



8月1日(月)福島県の子供たちが白川村を訪れ、世界遺産集落などを見学しました。被災された子供たちに少しでも元気になってもらおうと、高山ライオンズクラブ(高山市)が招待したもので、保育園児から中学生までの29名が訪問。合掌造り民家園では、餅つきや手打ちそばを味わうなどして楽しみました。

同クラブ第3副会長の平田春義さんは「夏の白川郷での体験が思い出し出になってもらえば」と話しました。

平瀬温泉のお湯を 被災地へ



8月11日(木)・18日(木)の2回にわたり、白川村建設懇話会のメンバーが、平瀬温泉のお湯を宮城県南三陸町の仮設入浴施設へ運び、被災者の方に利用していただきました。

同会の大野博司さんは「現地の方は、消火栓の水を沸かして入浴していたそう。温泉は震災後初めてとのこと、多くの方に喜んでいただけて良かった」と話しました。



災害ボランティア 参加者募集

広報8月号(P4)で募集した災害ボランティア9月1日(木)出発日のものが、台風の影響で延期となりました。代替日を左記のとおりとします。村民の皆様参加を願います。定員・行程等は変わりません。

◆出発日

9月29日(木)
午後6時 白川村出発
10月1日(土) 帰り

※内容は予定で、変更となる場合があります。

村では、被災地の復旧・復興や、被災者の生活再建に向け、今後も最大限の支援に努めていきます。

●問い合わせ先

総務課 環境計画係
☎6-11311

臨時議会だより

8月22日(月)第5回白川村議会臨時会が行われました。会では、諸般の報告、平成23年度補正予算等について審議され、すべて原案通り可決されました。主な内容は次のとおりです。

平成23年度補正予算

□一般会計 (第2回)	増額: 1,400万0千円
	合計: 29億5,023万5千円
	増額の主なもの: 観光費等
□温泉開発特別会計 (第2回)	増額: 1,262万6千円
	合計: 1億809万8千円
	増額の主なもの: 大白川源泉災害復旧工事

平成23年第3回白川村議会 定例会の開催

9月21日(水)一般質問、各議案の審議採決
29日(木)各議案の審議採決
両日とも、午前9時開始。役場で受付の手続きをしていただければ、どなたでも傍聴することができます。傍聴席は10席です。

●問い合わせ先

議会事務局 ☎6-11311